

2019年

第2回細胞検査士会役員会

議案書

日時：第58回日本臨床細胞学会（秋期大会）

2019年11月15日（金） 15:00～16:00

場所：岡山コンベンションセンター 2階 レセプションホール

I. 開会	p 1
II. 会長あいさつ	p 1
III. 議事録確認	
1. 2019年度 第1回細胞検査士会役員会議事録案	p 1
2. 2019年度 細胞検査士会定時総会議事録案	p 1
IV. 報告事項	p 1
V. 議案	
第1号議案 細胞検査士会2020年度事業計画及びこれに伴う予算書	p 5
VI. 確認・検討事項	
1. 渉外委員会内規	p 9
2. あり方委員会：正会員の権利向上に向けて	p 9
3. 庶務委員会：議事録作成要綱について	p 10
4. 総務委員会：2021-2022 役員選挙実施要綱もについて	p 10
5. その他	p 13
VII. 資料	
【資料 1】確認：2019年度 第1回細胞検査士会役員会議事録案	p 14
【資料 2】確認：2019年度 細胞検査士会定時総会議事録案	p 17

Ⅷ. 閉会

I. 開会

Ⅱ. 会長あいさつ

Ⅲ. 議事録の確認

1. 2019年度細胞検査士会第1回役員会議事録 【資料 1】 p14
2. 2019年度細胞検査士会定時総会議事録 【資料 2】 p17

Ⅳ. 報告事項

1. 総務委員会

- 1) 2020年度事業計画及びこれに伴う予算書の作成と第2回役員会議案提出
- 2) 2019年細胞検査士会第1回役員会議案書作成
- 3) 2019年細胞検査士会定時総会議案書作成
- 4) 2019年度第2回細胞検査士会役員会議案書作成

2. 経理委員会

- 1) 2020年度細胞検査士会予算案作成
- 2) 2019年度細胞検査士会収支計算書作成予定
- 3) 2019年度細胞検査士会監査会開催予定

2020年3月末日 日本臨床細胞学会事務局

3. 庶務委員会

1) 物故会員

山田 仁彦 (ヤマダ キミヒコ) 殿 JSC番号:03467

畠山 美智子 (ハタケヤマ ミチコ) 殿 JSC番号:02281

- 2) 2019年度第1回細胞検査士役員会議事録案作成
- 3) 2019年度細胞検査士会総会議事録案作成
- 4) 委嘱状等, 細胞検査士会発行番号・公印付文書の発行 (第19-0001～第19-0307)

4. 規約委員会

「総会運営に関する細則」「役員選任に関する細則」「役員会運営に関する細則」「委員会に関する細則」「委員長会議に関する運用細則」「委員会業務分担要綱」「電子的通信手段の利用に関する細則」「会計に関する細則」「慶弔に関する細則」「議事録作成要綱」「都道府県細胞検査士会との連携に関する細則」について附則年号表記を西暦(年号)へ変更。

5. 渉外委員会

- 1) 子宮の日の活動: 2019 Love49プロジェクト 参加は47都道府県(100.0%), 細胞検査士会提供グッズのポケットティッシュ6万個を全国の都道府県へ配送
- 2) 2018年度(平成30年度)細胞検査士会公益広報活動調査 (啓発・社会活動と育成・養成活動)
調査期間: 2019年8月～10月(回答率100%: 47都道府県)
 - ① 啓発・社会活動の報告

2018 Love49 キャンペーン実施都道府県数：47都道府県（100.0%），
総イベント数：84，イベント参加者数：延べ2,193名（細胞検査士1,324名，臨床検査技師363名，医師76名，その他430名）

② 育成・養成活動の報告

開催数：125（複数開催した都道府県あり），参加者数：延べ3,898名（細胞検査士2,284名，臨床検査技師1,395名，医師192名，その他27名）

③子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート（抜粋）

細胞学会に2019年度（平成31年度）分の子宮頸がん検診推進活動費を申請したか否か，
申請した：43都道府県，申請しなかった：4都道府県

3) 第6回子宮の日全国アクション-2019報告会

第60回日本臨床細胞学会総会（東京：2019年6月9日（日）10：30～12：00）において
2019報告会を実施し，細胞検査士と専門医から5演題を報告していただいた

座長：廣井 禎之技師，服部 学技師

演者：藤井 和晃技師（渉外委員会），押本 綾子技師（東京都），須藤 安史技師（青森県），
貞嶋 栄司先生（地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館ライフサイエンス研究所），
齋藤 英子先生（国際医療福祉大学三田病院）

5) 第60回日本臨床細胞学会総会（6月）において，LOVE49キャンペーンパネル展示をがん
検診委員会と共同で行った．第57回日本臨床細胞学会秋期大会（11月）においても，同様に
パネル展示を行う予定

6) 第15回がん患者大集会の会場協力の予定

テーマ：「これからのがん治療とピアサポートの重要性」

日時：2019年11月10日，13時～16時30分

メイン会場：国立がん研究センター築地キャンパス新研究棟 大会議室

協力：東京都細胞検査士会

7) 2020 Love49プロジェクトの準備（2019年12月～2020年3月）

① 2020 Love49キャンペーンの趣意書を伊藤会長へ要望し，庶務委員会から発行

② 2020 Love49への参加希望を12月から行う予定

③ 2020年4月9日前後に，特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に，
子宮頸がん検診啓発活動を行うための準備

8) 第7回子宮の日全国アクション-2020報告会の準備

第61回日本臨床細胞学会総会（神奈川）において，2020報告会開催の準備

6. 編集委員会

会報64号・65号を発行。（企画，執筆依頼と原稿収集，編集作業と印刷依頼等）

会報66号発行に向け作業中

7. 学術委員会

1) 第60回日本臨床細胞学会総会

細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画，実行

2) 第77回，第78回細胞検査士教育セミナー

セルフアセスメントスライド作製協力

3) 第58回日本臨床細胞学会秋期大会

細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画，実行

わからん会企画, 実行

4) 細胞検査士会ワークショップ第1回, 第2回を予定

2020年1月25, 26日 大阪医大

8. 国際委員会

第11回日・台・韓 Joint Meeting

2020年3月14日(土) 台湾・台中 参加者および発表者を募集中

9. 情報委員会 2019年度 4 - 10月 におけるHP更新情報

1) 新着情報

平成30年度事業報告、平成31年度事業計画

50周年記念委員会 平成30年度事業報告

「2019年度(令和元年)第1回 細胞検査士会都道府県代表者会議」のお知らせ

「2019年度(令和元年)第1回細胞検査士会役員会」開催のお知らせ

合同セミナー情報掲載 細胞検査士養成ワークショップ募集掲載(東京会場)(神戸会場)

「2019年度(令和1年)第2回細胞検査士会役員会」開催のお知らせ掲載

第11回日・台・韓 細胞検査士合同セミナー第1弾

第14回神戸甲状腺診断セミナーのご案内掲載

令和元年度中皮腫の診断精度向上のための講習会

第11回日・台・韓 細胞検査士合同セミナー第2弾

2) 会員専用

2019年第1回役員会議案書及び細胞検査士会定時総会議案書

2019年-2020年役員名簿掲載 2019年-2020年役員名簿掲載

3) セミナー・ワークショップ

2019年度 開催予定を掲載

4) 細胞検査士求人情報の掲載に関して

求人情報掲載件数 54件(4月~10月)

取り下げ件数, 9件(4月~10月)

5) 精度保証

細胞検査士養成ワークショップ募集掲載(東京会場)(神戸会場)

6) 都道府県代表者ML

細胞検査士会支部 HP 愛知県(代表者変更) 岡山県(代表者変更)

都道府県代表者 ML 愛知県(代表者・事務局変更) 岡山県(代表者・事務局変更)

静岡県(代表者・ML代表者アドレス・事務局変更)

岐阜県(代表者・ML代表者アドレス・事務局変更)

秋田県(代表者・ML代表者アドレス・事務局変更)

長崎県(代表者・ML代表者アドレス)の変更

都道府県メーリングリスト変更登録 1件

役員 ML: ctffellow@ctjsc.com の新旧メンバー変更

委員長 ML: icyto@ctjsc.com の新旧メンバー変更

10. 都道府県細胞検査士会代表者委員会

1) 2019年度都道府県代表者名簿, 連絡網の作成

2) 都道府県代表者会議定期連絡メール配信と臨時連絡

3) 2019年度第1回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催

4) 2019年度第2回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催

11. あり方委員会

12. 精度保証委員会

1) 第78回、第79回細胞検査士教育セミナー・2019年度細胞検査士養成ワークショップ
セルフアセスメントスライド問題作成会議（学術委員会との連携）

細胞検査士養成ワークショップ問題作成会議，2019年7月27日（土） がん研有明病院

2) 第78回、第79回細胞検査士教育セミナー

セルフアセスメントの解説ならびに回答の集計作業

3) 2019年度細胞検査士養成ワークショップの開催

関東：2019年 9月21，22日 日本大学医学部附属板橋病院 参加人数98名

関西：2019年10月5，6日 神戸大学医学部附属病院 参加人数101名

V. 議案

第1号議案：細胞検査士会2020年度事業計画及びこれに伴う予算書

令和元年 11 月

細胞検査士会 2020 年度事業計画及びこれに伴う予算書

公益社団法人日本臨床細胞学会
細胞検査士会会長 伊藤 仁

1. 2020年度細胞検査士会事業計画

1) 本部

【目的】会員の細胞学的知識の向上，技術の研鑽ならびに，公益社団法人日本臨床細胞学会事業に協力し，細胞検査士の社会的地位の確立を図ることにより社会への貢献を図る

【予定・計画】

- ① 各委員会事業の計画，実施，進捗の管理 ② 各委員会事業の結果を会員へ報告
- ③ 公益社団法人日本臨床細胞学会の動向を会員へ報告 ④ 総会の開催（1回/年以上）
- ⑤ 役員会の開催（2回/年以上） ⑥ 委員長会議の開催（1回/年以上）
- ⑦ 役員選挙，会長副会長選挙実施 ⑧日台韓細胞検査士合同セミナー開催（協力）

【会の公益活動について】

- ① 『子宮の日』の活動をはじめとする会の公益活動において，その活動内容を公益社団法人日本臨床細胞学会に報告し理解を求める

【公益社団法人日本臨床細胞学会事業への協力】

- ① 各種委員会会務 ② 細胞検査士教育セミナー ③ 細胞検査士ワークショップ
- ④ 学術集会 ⑤ 細胞検査士資格認定試験 ⑥ 細胞検査士養成事業

2) 総務委員会

委員会業務分担要綱に基づき，当会の円滑な運営に努める

- ① 事業計画・予算書の作成と管理
「2021年度事業計画及びこれに伴う予算書」案作成し，11月に役員会議案提出
- ② 事業報告・決算書の作成と管理
「2019年度事業報告及びこれに伴う収支決算書」案作成し，6月に役員会議案提出
- ③ 総会，役員会，委員長会議の議案書作成と管理
定時総会（6月），第1回役員会（6月），第2回役員会（11月），
委員長会議（2021年）の議案書作成と配信
- ④ 各委員会間の情報伝達と業務調整
- ⑤ その他，他の委員会などが所掌せず，役員会が必要と認めた事項

3) 経理委員会（本会の会計管理を担当）

- ① 予算書の作成 ② 各委員会からの会計業務を調整し，学会へ会計の施行を依頼
- ③ 収支決算書の作成 ④ 監査を受ける ⑤ 会計に関係する資料を学会へ送付
- ⑥ 役員会で予算・決算の報告，説明を行う ⑦ 総会および会報などにて要約した会計報告を行う⑧ 備品台帳の作成・保管

4) 庶務委員会

- ① 各役員・委員委嘱状発送 ② 総会，役員会，委員長会議等の開催・運営
- ③ 役員会・各種会議の議事録作成・保管 ④ 公印の使用及び管理 ⑤ 資料の保管
- ⑥ 慶弔業務

5) 規約委員会

各委員会からの要望を受け，本法人規則類に準じて細胞検査士会規則類の議案作成を行い，役員会，総会の決議によって定められた規則類を管理する。また各委員会の内規も各委員会とともに管理する。

6) 渉外委員会

- ① 子宮の日の活動：2020 Love49 全国プロジェクト
- ② 2019年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会事業と育成・養成事業）
- ③ 子宮の日全国アクション-2020 報告会（日本臨床細胞学会総会；横浜）

- ④ 日本臨床細胞学会総会および秋期大会（6月，11月）におけるパネル展示
- ⑤ がん患者大集会の会場協力
- ⑥ 細胞検査士会ホームページへのLove49活動関連ページへの取り組み
- ⑦ リーフレット「がん診断の担い手 細胞検査士」第4版の作成
- ⑧ がん検診委員会 事業計画
 - 有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン 2018 年度版の検証
- 7) 編集委員会
 - ① 会報 67号，68号の企画・原稿の編集・会員への会報発送.
- 8) 学術委員会
 - ① 細胞学会時，細胞検査士要望教育シンポジウムの企画
 - ② 細胞学会時，ヤングコミティーワークショップの計画と実行および支援
 - ③ 細胞学会時，わからん会の企画
 - ④ 細胞検査士教育セミナー実施協力，企画およびセルフアセスメント作製協力
 - ⑤ 細胞検査士生涯教育ワークショップ（2回/年）
 - その他：講師選択には一定の基準を定める（経験年数，評議員，正会員等）
- 9) 国際委員会
 - 第59回日本臨床細胞学会秋期大会（2020年11月21日-22日，パシフィコ横浜ノース）内での日・台・韓 Joint Meeting の企画
- 10) 情報委員会
 - ① ctjsc.com（細胞検査士会 HP）CMS システム保守と運用
 - ② 委員長 ML 及び役員会 ML へ毎月の更新内容を報告
 - ③ 委員長会議，役員会会議及び都道府県代表者会議メーリングリストの管理
 - ④ Intercyto.com（インターネットサイトロジック HP）CMS システムの構築
正式公開に向けての症例収集，運用マニュアルの構築
 - ⑤ 細胞検査士会 HP の英語ページの整備 http://www.ctjsc.com/english/eng_top.htm
- 11) 都道府県代表者委員会
 - ① 2020 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
 - ② 2020 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者委員会
 - ③ 2020 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
 - ④ 2020 年度第 2 回細胞検査士会都道府県代表者委員会
- 12) あり方委員会
 - ① 正会員を増やすための対策(令和元年度に継続)
 - ② 細胞検査士と細胞診専門医の関係，あり方についての検討
 - ③ 令和 2 年度あり方委員会会議
- 13) 精度保証委員会
 - ① 細胞検査士教育セミナー，セルフアセスメント実施（学術委員会と精度保証委員会との連携事業）
 - ② 細胞検査士養成ワークショップ（関東・関西）の実施
 - ③ 精度保証に関する事業立案

2. 2020年度細胞検査士会予算案

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 2020年度 予算

細胞検査士会

繰越金内訳

収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,864,000	細胞検査士養成ワークショップ(10,000円×200名)、ワークショップ 60人×8,000円×2回(参加者9割で計上)
入会金、年会費口座より	2100000 7,071,780	2020年度予算案から 検査士更新(0人、5,000円) 第52回CT合格者(予測300人、7,000円)
郵送費、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	12,185,780	

銀行預金 1,627,684
記念事業” 4,086,511
郵便振替 32,799,408
検査士会WS 3,511,960
”検査士会
(50周年記念誌用)” 703,870
現金 130,694
合 計 42,860,127

検査士更新(0名 5,000円) 0円
第52回CT合格者予測(300名 7,000円) 2,100,000円
総計2,100,000
※ 更新料5年分先払 1,000円×5年分 5,000円
2020年度は更新者無
※ 合格者→入会費2,000円+更新料5,000円 7,000円

委員会 科目	管 理 費											事業費		2020秋期 大会支援	合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府県 代表	規約	国際	あり方	精度保証	学術		
通信運搬費	105,000	40,000	313,500	40,000	70,000	1,410,000	220,000	1,000	-	-	30,000	15,000	10,280		2,254,780
旅費交通費	460,000	140,000	-	140,000	-	-	120,000	-	-	-	130,000	800,000	200,000		1,990,000
印刷製本費	50,000	-	-	-	-	1,600,000	820,000	-	5,000	-	-	650,000	-		3,125,000
消耗品費	50,000	20,000	-	20,000	5,000	50,000	520,000	-	-	-	20,000	5,000	190,000		880,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	10,000	100,000	-	-	-	-	-	25,000	-		135,000
臨時雇賃金	50,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80,000	60,000		190,000
会議費	300,000	44,000	-	44,000	-	-	50,000	104,000	20,000	20,000	20,000	160,000	44,000		806,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	150,000	-	-	30,000		480,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
接待交際費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	50,000	-	-	-		110,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	480,000	360,000		840,000
雑費	320,000	-	5,000	-	5,000	-	-	-	5,000	-	-	-	40,000	1,000,000	1,375,000
合計	1,685,000	244,000	318,500	244,000	100,000	3,160,000	1,730,000	105,000	30,000	220,000	200,000	2,215,000	934,280	1,000,000	12,185,780

支出合計	12,185,780
------	------------

以上の通り、2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)の細胞検査士会予算を計上します

2019年10月31日 細胞検査士会 会計担当 仲村 武

同 会長 伊藤 仁

VI. 確認・検討事項

1. がん検診委員会設置に関する渉外委員会内規（仮称）について

がん検診委員会（渉外委員会小委員会）の設置に関する取り決め（仮称）	がん検診委員会に関する渉外委員会内規（仮称）
1. 目的 1) がん検診に関する調査研究 2) がん検診受診への啓発活動	
2. 活動 1) 日本臨床細胞学会でのパネル展示（啓発・調査） 2) 他関連団体との啓発活動の実施 3) その他	
3. 構成員 1) 委員長 1名, 委員 若干名 2) 委員長は渉外委員会の委員長あるいは委員とする 3) 構成員の選任については、「細胞検査士会役員選任に関する細則」に準ずる	
4. 任期 1) 構成員の任期は定時総会から2年後の定時総会終結までとし、再任を妨げない 2) 当該委員長の任期は連続3期6年を限度とする	
5. がん検診委員会（渉外委員会小委員会）の設置期間は、役員会の承認により決定する	
附則 1. 2019年11月15日（令和元年11月15日）施行	

2. 正会員を増やすための対策（あり方委員会）

記述式のアンケート結果について

その他

3. 議事録作成要綱について（庶務委員会） 変更必要性の有無など

現	変更案
庶務委員会は会議の議事録を次の手順で作成する。	
1. 庶務委員会はレコーダー等の記録をもとに各会議の報告事項、審議事項、決定事項の要旨をまとめて議事録素案を作成する。	
2. 会議を構成する役員、委員は庶務委員会が示す議事録素案を確認し、校正が必要な場合は指定された日時まで庶務委員会に提出する。	
3. 庶務委員会は議事録素案の校正内容をもとに議事録案を作成し、会議を構成する役員、委員によって確認、校正され、選任された議事録記名人の記名または記名押印を受けたものを議事録とする。	
4. 各発言者の判断で議事録素案、議事録案の校正にあたり、削除しても差し障りがない部分は削除可とする。ただし、原則として事後追加は認めないものとする。	
5. 庶務委員会は、議事録を資料として管理するとともに、必要に応じて編集委員会および情報委員会に送致し、本会の会報およびホームページに掲載して公示する。	
6. この要綱の変更は役員会の承認を経なければならない。	
<p>附 則</p> <p>1. この要綱は、2010 年（平成 22 年）5 月 29 日より施行する。 庶務</p> <p>2. 2014 年（平成 26 年）2 月 16 日 一部改定施行。</p> <p>3. 2018 年（平成 30 年）6 月 1 日 一部改訂施行。</p>	

4. 役員選挙実施要綱について

2019-2020 年度役員選挙実施要綱案	2021-2022 年度役員選挙実施要綱案
<p>細胞検査士会は役員選任に関する細則により 2019-2020 年度役員選挙を次のように実施する。</p> <p>1. 選挙の対象と実施期間</p> <p>【選出役員】</p> <p>2019 年定時総会から 2021 年定時総会までを任期とする会長 1 名、副会長 2 名、幹事若干名。</p> <p>【選挙の概要】</p> <p>(1) 都道府県細胞検査士会代表者委員会を介し、各都道府県細胞検査士会の協力を得て、2019-2020 年度役員選挙管理委員会（選挙管理委員会）が実施する。</p> <p>(2) 幹事の選出、会長及び副会長の選出の 2 回に分けて行う。</p> <p>【選挙日程】</p> <p>(1) 選挙管理委員会を 2018 年 8 月までに設置する。</p> <p>(2) 選挙公示を 2018 年 9 月までに行う。</p> <p>(3) 各都道府県細胞検査士会より選出された選挙人による幹事の選出</p>	

<p>を 2018 年 10 月に実施する。</p> <p>(4) 新たに選出された幹事の中より選挙人による会長及び副会長の選出を 2019 年 2 月までに実施する。ただし、事情により選挙管理委員会は実施期日を変更することがある。</p>	
<p>2. 選挙管理委員会と開票立会人</p> <p>【選挙管理委員会の設置】</p> <p>役員選任に関する細則第 8 条により、選挙管理委員会を設置する。</p> <p>【選挙管理委員会の位置付け】</p> <p>選挙管理委員会は、委員会に関する細則に定める委員会とは異なる委員会として位置付ける。</p> <p>【選挙管理委員会の構成と任期】</p> <p>選挙管理委員会は、委員長 1 名、及び若干名の委員で構成し、2019 年定時総会までの任期で会長が委嘱する。</p> <p>【選挙管理委員会の任務】</p> <p>選挙管理委員会は、次のことを行う。</p> <p>(1) 各都道府県細胞検査士会における選挙人の割り当て数の決定と選挙人名簿の作成。</p> <p>(2) 被選挙人の募集・資格審査と被選挙人名簿の作成。</p> <p>(3) 選挙日時・開票方法の細目の決定及び公示。</p> <p>(4) 開票立会人の指名。</p> <p>(5) 投票用紙の配布・回収・保管及び開票・集計作業。</p> <p>(6) 投票資格の確認及び投票の有効・無効の審査。</p> <p>(7) 選挙結果の発表と異議の確認。</p> <p>(8) その他、選挙の円滑な実施に必要な実務。</p> <p>【開票作業】</p> <p>選挙管理委員会は、開票立会人を指名し、必要に応じて開票作業の補助員を置くことができる。</p> <p>【開票立会人】</p> <p>選挙管理委員会は、開票立会人を会員から公募することができる。開票立会人は、投票用紙の確認、開票作業の公正な実施の確認、無効票の審査結果の承認、開票結果の確認・承認を行い、監査報告書を作成する。</p>	
<p>3. 幹事の選出方法</p> <p>【選出定数】</p> <p>被選挙人（候補者）の中より約 30 から 40 名を選出する。（ただし、この中より 3 名は会長、副会長となる）</p> <p>【選挙人資格】</p> <p>次の A 及び B を併せた約 250 名を選挙人（投票権者）とする。</p> <p>(A) 各都道府県細胞検査士会基礎選挙権</p> <p>都道府県細胞検査士会代表者委員会より選挙管理委員会に報告のあった 2018 年 6 月 1 日時点の都道府県細胞検査士会代表者を選挙人と</p>	

して登録する。

(B) 会員数比例選挙権

各都道府県細胞検査士会代表者より申告された 2018 年 6 月 1 日時点での会員数にもとづき、会員約 30 から 40 名に 1 人の割合で計約 200 名の選挙人を割り当て、各都道府県細胞検査士会代表者に通知する（ただし、会員数 70 名未満は一律 2 人とする）。都道府県細胞検査士会代表者は、規定数の選挙人を選出し、選挙管理委員会の指定する方法によって選挙人登録をすることができる。

【被選挙人資格】

被選挙人（候補者）は、選挙管理委員会の定める方法により各都道府県細胞検査士会より推薦を受けた者、または立候補を届け出た者のうち、選挙管理委員会で審査し、次の要件をすべて満たす者とする。

(1) 当会会員であり、本法人正会員または選出後正会員となる意思を有すること。

(2) いずれかの都道府県細胞検査士会に所属し、かつ会費滞納のないこと。

(3) 役員を解任されるなどの懲戒処分を過去に受けたことがないこと。

(4) 役員選任に関する細則に反しないこと。

(5) 選挙管理委員会構成員ではないこと。

【選挙期間】

幹事の選挙期間は、2018 年 9 月から 10 月までの間で、約 10 日間を投票期間として選挙管理委員会が決定する。

【選挙方法】

選挙は、選挙管理委員会の指定する候補者 7 名連記式の投票用紙による郵便投票で行う。投票用紙の送付先、開票場所などの細目については選挙管理委員会が決定する。

【無効票】

次に該当する投票は無効とする。

(1) 被選挙人以外の者の氏名を記載したもの。

(2) 記載された被選挙人名を判別または特定できないもの。

(3) その他、選挙管理委員会の指定する方法に従わないもの。

【当選者】

同数得票者を含め得票数の多い者から上位約 30 から 40 名を幹事当選者とする。

【選挙結果の公示】

当選者確定後、細胞検査士会ホームページ（以下、HP）及び細胞検査士会報にて幹事当選者の氏名と得票数を選挙管理委員長名で公示する。また、2018 年秋の役員会にて当選者の氏名を報告する。選挙結果に対する異議の申し立ては、当選者の発表後約 5 日の間に選挙管理委員長宛の文書で受付、その対応は選挙管理委員会が決定する。

4. 会長及び副会長の選出方法

【選出定数】

候補者の中より会長 1 名及び副会長 2 名をそれぞれについて選出する。

【選挙人資格】

選挙人は、先行する幹事選挙の選挙人及び新たに選出された幹事とする。ただし、重複は認めない。

【被選挙人資格】

被選挙人（候補者）は、新たに選出された幹事の中より立候補した者または推薦された者とし、立候補の方法は選挙管理委員会が決定する。ただし、会長と副会長の両方の候補者となることはできない。また、それぞれの立候補者数が定数を超えない場合は、新たに選出された幹事のすべてを候補者とする。

【選挙期間】会長及び副会長選挙は 2019 年 2 月までに行い、具体的な日時は選挙管理委員会が決定する。

【選挙方法】

会長及び副会長選挙ともに、選挙管理委員会の指定する投票用紙にそれぞれの定数名の候補者氏名を記載し、同時に郵便投票で行う。その他の細目については選挙管理委員会が決定する。

【無効票】

次に該当する投票は無効とする。

- (1) 被選挙人以外の者の氏名を記載したもの。
- (2) 記載された被選挙人名を判別または特定できないもの。
- (3) その他、選挙管理委員会の指定する方法に従わないもの。

【当選者】

次の方法により当選者を決める。

(1) 会長選挙は、最高得票者 1 名を当選者とする。(2) 副会長選挙は、得票数の上位 2 名を当選者とする。同数得票により当選者を確定できなかった場合は、これらの者を候補者として引き続き決戦投票を行い、得票数の多い者をそれぞれの当選者とする。総投票数が選挙人総数の 2/3 に満たない場合には、後日あらためて再選挙を実施する。

【選挙結果の公示】

当選者確定後、選挙管理委員長名で、当選者の氏名及び得票数を細胞検査士会 HP 及び細胞検査士会報にて公示する。また、当選者には選挙管理委員長名で当選証書を発行する。選挙結果に対する異議の申し立ては、当選者の発表後約 5 日間に選挙管理委員長宛の文書で受け付け、その対応は選挙管理委員会が決定する。

5. その他未定

2019 年度 第 1 回細胞検査士会役員会議事録案

日時：第 60 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

2019 年 6 月 7 日(金) 15:00~16:00

場所：京王プラザホテル

出席：【会長】伊藤 仁【副会長2】小松 京子，三宅 真司【幹事】平田 哲士，阿部 仁，仲村 武，原田 仁稔，河原 明彦，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，山城 篤，遠藤 浩之，竹中 明美，安達 博成，有田 茂実，石井 保吉，及川 洋恵，柿沼 廣邦，加戸 伸明，片山 博徳，小林 幸弘，小山 芳徳，笹井 伸哉，澁木 康雄，棚田 諭，土田 秀，田路 英作，野崎 正行，畠 榮，服部 学，羽原 利幸，廣井 禎之，深澤 政勝，藤井 和晃，松本 慎二，町田 知久，丸川 活司，丸田 淳子，三浦 弘守，山本 秀巨【監事】片岡 秀夫

欠席：【幹事】阿部 英二，今枝 義博，藤田 勝，横山 俊朗

会の成立：役員 47 名中 43 名出席，委任状提出 4 名 仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：伊藤会長推薦により平田総務委員長が選任

議事録作成：仲村 武，棚田 諭，石堂 統

議事録署名人：伊藤 仁，片岡 秀夫

会長挨拶

皆様，本日はお忙しいところ，ご出席いただき誠に有り難うございます。今年は，役員改正の年になりますので，本日は，元の役員と新役員になられる方に，オブザーバーとして出席して頂いて，新旧合同の役員会とさせて頂きました。まず今回役員を退任される方には，これまで細胞検査士会のご尽力に心より感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。また，新たに役員となられる皆様方には，細胞検査士会のためにどうぞお力添えを頂きますようお願い申し上げます。さて，細胞検査士役員会と同様に日本臨床細胞学会の方も評議員の選出，理事改選の年となっております。今回も日本臨床細胞学会の理事選挙に私と小松副会長，それと石井前会長の 3 名が理事に当選させて頂きました。ご協力頂きました皆様方には厚く御礼を申し上げます。しかしながら，いつも申し上げている事でございますが，40 名弱の日本臨床細胞学会の理事のうち細胞検査士の理事はわずかに 3 名でございます。約 12,000 名の会員を擁する日本臨床細胞学会のほぼ 2/3 近くを占める細胞検査士ですが，理事はたったの 3 名ということになります。この現状を是非役員の皆様方にはしっかりとご認識頂きまして，現在議論されているところではございますが，是非，細胞検査士からもっと理事を出すために正会員を増やす，評議員を増やすための取り組みへのご協力を切にお願い申し上げます。

それと，日本臨床細胞学会の理事長の任期満了に伴いまして，明日の総会で今までの青木理事長から北里大学の佐藤之俊先生が理事長になることが決定しております。

2020 年，私が主催させて頂きます日本臨床細胞学会秋期大会の件についてですけれども，その準備状況ですが，現在，組織作りをしているところでございます。コンベンションサービス等々を決定させて頂きまして，これからのコアプログラム委員会等を決めていくというような段階です。会場となるパシフィコ横浜 North は現在建設中です。2020 年の 4 月に開業に向けて着々と工事が進んでおります。現在のパシフィコ横浜の会議場と同規模あるいは若干大きめのコンベンションセンターとなります。期日はこれまで何度も申し上げさせて頂きましたけれども，2020 年の 11 月 21 日・22 日でございます。土・日・月曜日が祝日ですので，3 連休の最初の 2 日間で行う

予定でございます。必ず大成功させたいと思いますので、皆様方の絶大なるご支援をお願いいたします。この学会に関して何か良い企画・アイデア等がございましたら、遠慮なくお申し出頂きたいというふうに考えております。なんといっても参加人数が多いことが学会の成否を決めますので、どうぞ 2020 年には日本中の細胞検査士の集結を目指して、皆様方の協力をお願いいたします。

I. 議事録確認

「平成 30 年度細胞検査士会役員会第 2 回役員会議事録」を確認した。

II. 報告事項 議案書Ⅳ報告事項の記載のように報告された。

2019—2020 年度役員選挙結果について才藤選挙管理委員長より報告があった。

III. 議案

第 1 号議案：細胞検査士会平成 30 年度事業報告およびこれに伴う決算書
決算書を一部訂正して承認された。

IV. 確認・検討事項

1) 2019-2020 年度監事候補者について承認された。

鳥居 良貴 氏, 石井 保吉 氏

2) がん検診委員会は渉外委員会の小委員会とする

内規の整備, 活動内容の引き継ぎ, 委員の選定を進める

3) あり方委員会：細胞検査士の地位向上に向けて

記述式のアンケート結果を報告する

引き続き, 細胞検査士正会員を増やす方策を検討していく。

4) その他

- ・細胞学会より子宮の日の冊子を負担するのは難しい。
- ・細胞学会への細胞検査士のメーリングリストの登録が少ない。
- ・各セミナー, 地域連合会の日程が重なってしまうことが無いように都道府県代表者会議で報告する。多くの事業は日程がほぼ同じ時期に開催される。

V. 監事より

任期 4 年間、監事を担当しましたが、役員の方々には非常にお忙しい中、細胞検査士の皆様の為に事業を担当して頂き感謝しています。また会計監査等でもご協力・ご尽力頂き感謝申し上げます。本学会細胞診専門医がいつ日本専門医機構に認定されるのか危惧していますが、細胞検査士は本学会が認定している資格であり、役員の皆様が細胞検査士の地位向上を目指す意識を持って進んで欲しい。(片岡監事)

VI. 質疑内容

【報告事項】

・がん検診委員会を渉外委員会の小委員会にした経緯について(安達幹事)がん検診委員会と渉外委員会の事業内容が重なることが多く、渉外委員会に入った方が良い。がん検診委員会の事業内容が縮小するわけではない(平田議長)

【確認・検討事項】

- ・細胞検査士正会員を増やす方策について 以前に行った記述式アンケート結果を公表して、検討する必要がある。(安達幹事)
- ・記述式アンケート結果を公表し、検討する方向である。(遠藤あり方委員長)
- ・細胞検査士準会員を廃止すれば良いのではないかと、過去の経緯をあまり知らない若い人達の意

見としてある。(田路幹事)

- 細胞学会の制度であって、検査士会の制度ではないので、難しいことだと思われる。(平田議長)
- フルタイムで勤務されていない方の為にも必要ではないか。(平田議長)
- 細胞学会の規則を変更する必要がある、そのためにも細胞検査士が多く理事になる必要がある。(伊藤会長)
- 正会員と準会員を教育の場で区別するのは良くない。(安達幹事)
- 準会員が意見述べる場が必要ではないか。(安達幹事)
- 都道府県代表者会議で正会員の意義を説明し、各代表者がそれぞれの地域で準会員が正会員になって頂くよう地道に活動することが大事である。(羽原幹事)
- 今年度の細胞検査士教育セミナー(大阪)と近畿連合会の開催日が重なった原因と今後の対策と今後このような事案がないようお願いしたい。また、e ランニング制度を細胞検査士にも認めて欲しい。(安達幹事)
- 毎年、細胞検査士教育セミナー(臨床細胞学会事業)は同じ時期に開催している。この役員会ではなく、臨床細胞学会の都道府県代表者会議でアナウンスしていただきたい。(伊藤会長)
- e ランニングを利用して、細胞検査士の資格更新単位を取得できるシステムを理事会の承諾が得られれば、検討・整備するように努める。(伊藤会長)

VI. その他

細胞学会 渉外・広報委員会報告

- 子宮の日全国アクション(Love49 の活動)に関する日本臨床細胞学会としての予算についての結論は、『子宮の日の冊子、他を負担するのは難しい』さらに、この案件はこの結論をもって終了とする。細胞検査士会としてあらたに要望を提出して頂きたいとのことであった。(廣井幹事)

2019 年度 細胞検査士会定時総会議事録案

日時：2019 年 6 月 9 日 (日) 14:00~15:00

会場：京王プラザホテル 第5会場 南館 4F 錦

参加人数：52 名

議長選出：総会に関する運用細則 第 5 条により、平田総務委員長が議長に選任

議事録作成：庶務委員会（笹井委員）

議事録署名人：原田 仁稔，横山 俊朗

I. 会長挨拶

本日はお忙しい中、お集まりくださりましてありがとうございます。

今年は、役員の改選の年となっております。昨年行なわれました役員選挙に於いては会員の皆様方、都道府県の細胞検査士会の皆様にはご協力いただき誠にありがとうございます。お蔭様で選挙は滞りなく無事に終了いたしました。後ほど選挙管理委員長よりご報告があると思います。ご協力に心より御礼を申し上げたいと思います。細胞検査士会の役員選挙と同様に日本臨床細胞学会の評議委員、理事選挙の行なわれる役員改選の年であります。昨日の総会より新しい体制となっております。今回も理事選挙では私と小松副会長、石井前会長の三名が立候補いたしまして無事に選挙で当選することができました。ご協力いただきました皆様には厚く御礼を申し上げます。いつも申し上げていることではございますが、39名の理事の内、細胞検査士の理事は3名しかおりません。約1万2千名の会員を要する日本臨床細胞学会のほぼ3分の2近くを占める細胞検査士ですが理事はたったの3名です。この現状をよくご理解いただきまして、現在、役員会でも議論されていることではございますが是非、細胞検査士の正会員を増やすための取り組みへのご協力をお願いするしだいでございます。日本臨床細胞学会では、理事長の任期満了に伴いまして慶応大学の青木先生から、北里大学の佐藤 之俊先生が新しい理事長になっております。次に、私が主催させていただきます2020年第59回日本臨床細胞学会 秋期大会の準備状況についてですが現在、組織づくりをしているところでございます。学会会場となるパシフィコ横浜・NORTHという正式な名前になっておりますが現在建設中でございます。2020年4月の開業に向けて着々と順調に工事がすすんでおります。このパシフィコ横浜・NORTHですが、現在のパシフィコ横浜会議センターと同程度あるいは若干大きめの規模の新しいコンベンションセンターとなります。必ず大成功させたと思いますので皆様方の絶大なるご支援をお願いいたします。期日は、2020年11月21日、22日でございます。23日が祭日でございますので三連休の手前の2日間で開催する予定でございます。この学会に関して何か良い企画やアイデア等ございましたら遠慮なくご連絡いただきたいと思います。なんといいても参加人数の多いことが学会の成否を決定しますのでどうぞ2020年には日本中の細胞検査士の集結を目指してご協力をお願いするしだいです。因みに去年の秋の学会の参加人数が最高で、約6千人ちょっとの参加者数ですが今年のこの会はそれを上回っております。是非、2020年の秋にも多数の皆様がお集まりいただけるような会を作りたいと思いますので皆様方のご協力をお願いいたします。

公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会 1

II. 報告事項

1. 物故会員

会員区分	JSC 番号	お名前	逝去日
功労会員	0776	上野 喜三郎 様	2018/07/02
正会員	3016	宮川 潤 様	2019/04/23
準会員	4603	野本 清明 様	2018/01/20
	5657	井上 陽一 様	2018/03/03
	3584	吉永 匡代 様	2018/03
	5029	前田 新一 様	2018/04/12
	9130	竹田 佳織 様	2018/11/06
	1191	稲本 和男 様	2018/11/13
	3456	吉岡 均 様	2018/11/25
	4142	遠藤 三佳 様	2019/03/28

出席者全員で黙祷を捧げた。（仲村庶務委員長）

2. 2019-2020 年度細胞検査士会役員選挙（才藤選挙管理委員長）

1) 幹事選挙 2018 年 11 月 3 日（土）開票

選挙人256名（1792票）中、232通（1620票）が有効で、172票が無効でした。
役員（幹事）候補者34名の得票数は以下のとおりです。（得票順・あいうえお順・敬称略）

1～30位の30名

伊藤 仁	78	及川 洋恵	56	加戸 伸明	49	小山 芳徳	46
阿部 英二	66	小松 京子	55	小林 幸弘	49	原田 仁稔	45
南部 雅美	62	田路 英作	55	藤岡 学	49	河原 明彦	42
丸田 淳子	61	三宅 真司	55	遠藤 浩之	48	藤井 和晃	38
横山 俊朗	61	安達 博成	54	澁木 康雄	48	木下 勇一	31
羽原 利幸	59	石井 保吉	51	仲村 武	48	河村 憲一	28
三浦 弘守	59	片山 博徳	51	阿部 仁	47		
棚田 諭	58	古田 則行	50	平田 哲士	47		

31～34位の4名

今枝 義博	27	大久保 文彦	22	秀島 克巳	18	深澤 政勝	7
-------	----	--------	----	-------	----	-------	---

2) 会長・副会長選挙 2018 年 12 月 20 日（木）

会長：伊藤 仁，副会長：阿部 仁，小松 京子

いずれも、無投票当選，異議申し立ては無かった。

3. 渉外委員会の中にがん検診委員会を小委員会として設置する。

4. 子宮の日の活動について

NPO 法人で作成されているパンフレットが来年は縮小される可能性があり，渉外委員会で検討する。

5. 細胞検査士正会員を増やす方策について（遠藤あり方委員長）

臨床細胞学会に於ける細胞検査士の正会員を増やす方策について検討して参りました。具体的な方策はまだ出ていないが，今後も次期あり方委員長にもお願いして正会員を増やす方策について継続して検討していく。遅れておりました記述式アンケートの結果を来年度には公開する予定である。

Ⅲ. 議案審議結果

第1号議案 平成30年度事業報告および収支決算

一部修正の上、承認された。

議案説明：阿部経理委員長、

監査報告：片岡監事

監査については平成30年度の会計監査、業務監査を行なった。いずれも問題なく遂行されていることを確認した。

第2号議案 2019年度事業計画及びこれに伴う予算

承認された。

議案説明は阿部経理委員長

第3号議案 監事の選任

石井 保吉氏、鳥居 良貴氏 が承認された。